

久留米大学を受診した患者さんへ

「ポリープ状脈絡膜血管症において大量出血を来した症例の予後因子の検討」の研究に使用する診療情報について

この研究では、久留米大学病院眼科を受診し、外来受診時または入院中に記録・保存されている以下の診療情報を使用します。

- 1) 受診期間：2010 年 1 月～2016 年 2 月の間に受診
- 2) 受診科：眼科
- 3) 対象疾患名：ポリープ状脈絡膜血管症（加齢黄斑変性）
- 4) 使用する情報：診療記録や画像などの診療情報

あなたの診療情報を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：久留米大学医学部眼科学講座

研究代表者：助教 梅野 有美

研究分担者：教授 山川 良治

：講師 春田 雅俊

：助教 石橋 弘基

：助教 松尾 優

2) 研究の意義と目的：ポリープ状脈絡膜血管症とは、加齢黄斑変性のサブタイプの一つで、日本人の加齢黄斑変性の約半数を占めるといわれています。ポリープ状脈絡膜血管症では、時に網膜下出血や硝子体出血などの大量出血を引き起こし、重篤な視力障害を来することがあります。患者さんによって、出血の部位や程度、出血に対する治療方法、また、背景にある基礎疾患などが異なります。今回、久留米大学病院眼科において過去の診療記録を後ろ向きに調査することによって、ポリープ状脈絡膜血管症で大量出血を生じた場合、最終的に視力に影響する因子が何であったかを明らかにすることを目的としています。

3) 研究の方法：2010 年 1 月から 2016 年 2 月までに久留米大学眼科を受診し、ポリープ状脈絡膜血管症で大量出血を認めた患者さんを対象とします。それぞれの患者さんの出血の部位や範囲、基礎疾患の有無、治療法などを診療記録から調査し、どの因子が最終的な矯正視力に影響を与えたかを評価します。

- 4) 研究期間：2017 年 1 月倫理委員会承認後～2018 年 12 月 31 日

5) 上記の診療情報の使用を選定した理由：ポリープ状脈絡膜血管症で大量出血を来した際に、視力に影響する因子を明らかにするためです。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：今回の研究で得られた情報は厳密に管理されます。また、取得した情報を個人が特定される形で公表することはありません。

7) 研究成果の発表の方法：学会または論文で発表します。

8) 利益相反：本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

研究責任者氏名：梅野 有美（久留米大学医学部眼科学講座、助教）

〒830-0011 福岡県久留米市旭町 67

TEL：(0942)-31-7574

FAX：(0942)-37-0324